

# The Image of the Body in Ancient India: the Buddhist Meditation on the Impure

人間文化学部 英語英文学科


教授 Robert Kritzer

研究種目： 基盤研究(C)

研究期間： 2013年度～2015年度

研究分野： 印度哲学・仏教学



主な著書 

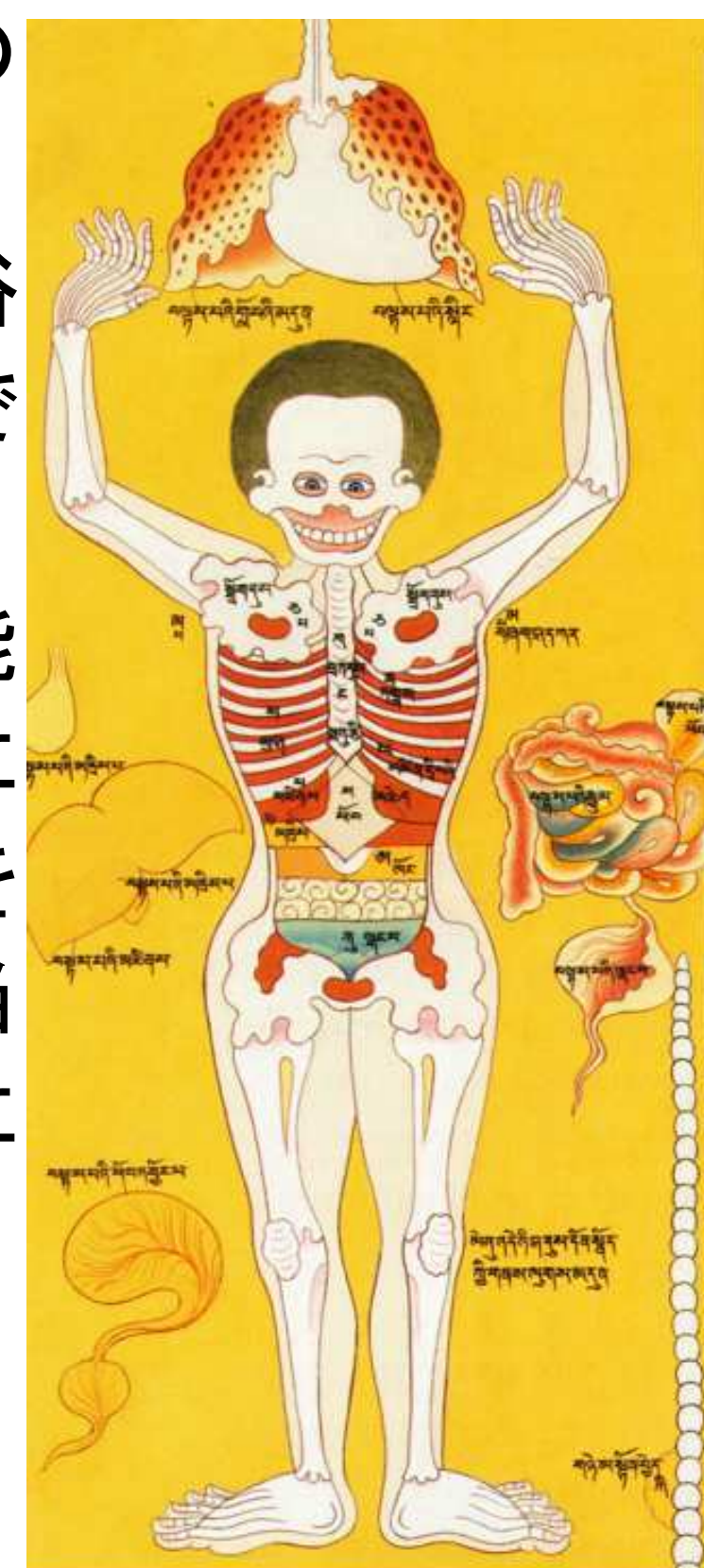
Garbhāvākraṅtisūtra; The Sūtra on Entry into the Womb. 2014

Vasubandhu and the Yogācārabhūmi: Yogācāra Elements in the Abhidharma-kośabhāṣya. 2005

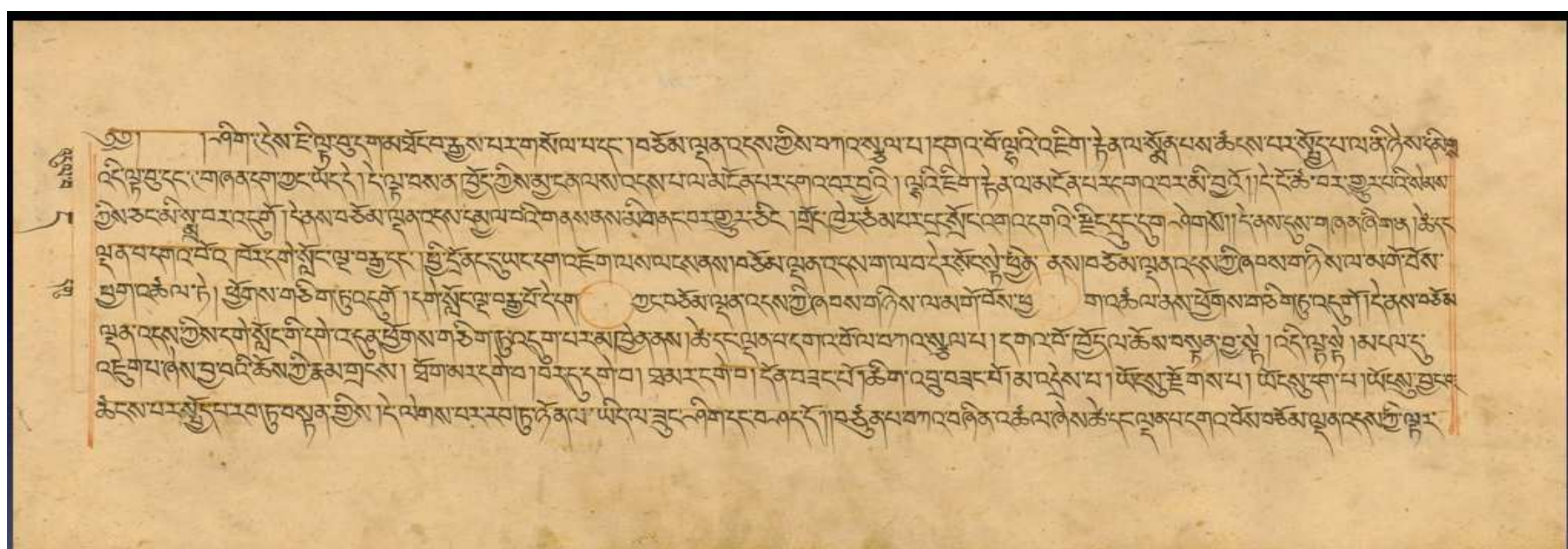
Rebirth and Causation in the Yogācāra Abhidharma. 1999

不浄観は死体を対象とする仏教の観想法である。不浄観の目的とは、身体に対する嫌悪を起こさせ、世俗的な人生への幻滅をもたらすことである。それは教理的にも重要であり、また他の観想法の原型となった可能性のある行法でもある。それはさらに身体に対する古代インド人の態度を示す事例でもある。また、不浄観は当時の仏教における女性観を明らかにする。

私は、二つのテキストを中心として、不浄観の発展過程をたどりたい。



"A Tibetan picture of the internal organs. These are the object of meditation on the impurity of one's own body."



A leaf from the London manuscript of *Garbhāvākraṅtisūtra: the beginning of the sūtra*

"The first page of a Tibetan manuscript of the Buddhist embryological sūtra (入胎經)"

京都ノートルダム女子大学  
研究・情報推進課

電話：075(706)3789

FAX：075(706)3793

電子メール：kenkyu@notredame.ac.jp